

海外展開支援事例



JETRO  **岡崎信用金庫**
ジェトロ名古屋

愛知から、世界につなぐネットワーク





愛知から、世界につなぐネットワーク

事例紹介

Case study



石彫の戸松

愛知県岡崎市 / 石材彫刻

岡崎信用金庫が 一步を踏み出すきっかけに！

近年の国内需要の落ち込みを懸念して、何か手を打たなくては、と危機感を抱いていました。そんな中、取引先の岡崎信用金庫の堀支店長よりジェトロの紹介を受け、海外市場という糸口を掴むことができました。恥ずかしながらジェトロを知らなかった私は、普段であれば、国の機関ということで構えてしまいそうですが、堀支店長の紹介であれば安心できると思い、相談してみることにしました。いつものように「おかしんが訪問に来た」という気軽な感覚で面談に臨むことが出来ました。



企業プロフィール

創業は明治35年で114年に渡り、当地にて石材加工業を営み続け、現在の代表で4代目の老舗石材店。初代から狛犬を得意とする石工であったが、現在でも肖像彫刻や仏像など、様々な石製品を製作している。

伝統工芸士
一級石材施工技能士
戸松 政洋

現在の海外展開段階と支援内容 [輸出]



活用サービス

- 専門家派遣事業
- 専門家によるマーケット情報



まずは専門家とのSWOT分析で 強みや課題を整理

ジェトロの専門家にワークショップ形式のSWOT(強み・弱み・機会・脅威)分析をしてもらい、海外展開だけではなく、国内においての自社の強みや課題も明確になりました。課題を明確にすることで、課題を克服するためのプロセスを考えることが出来ます。今まさに、課題を克服するためにジェトロと岡崎信用金庫の双方から情報提供や支援を受けて課題に取り組んでいる最中です。小さな工場ですが、大きな夢に向けて、1歩ずつ歩みを進めています。

ジェトロ名古屋貿易情報センター
所員

中山 義隆

ジェトロの支援だけでなく、ミラサゴや岡崎の伝統工芸士の集まる「おかざき匠の会」への参加など積極的に新しい事業に取り組まれているそうです。岡崎信用金庫とジェトロが連携しているからこそ、多方面からの支援が出来ます。



岡崎信用金庫 大和支店
支店長

堀 洋一

地元産業の発展が信用金庫の理念にあります。岡崎の地場産業である石材業界を盛り上げようと、以前より海外展開という構想を持っていました。さまざまな機関と連携を図りながら、1歩を踏み出すお手伝いが出来ればと考えております。



事例紹介

Case study



合資会社 野田味噌商店

愛知県豊田市 / 豆味噌、醤油、一般味噌加工品製造

ここにしかない文化を
世界に発信し続けるために

“和食”がユネスコ無形文化遺産に登録されたことをきっかけに“味噌”の文化を海外の方にも知ってもらいたいという思いが強くなりました。多くの情報が溢れている時代において、私たちの“食”に対する理念を、国内外問わず発信していくには、どのように行動を起こしたらよいか、限られた人材の中で合理的に進めていくためにどのようにしていくべきなのか、相談できる窓口を探していました。



企業プロフィール

従業員数 45 名、創業 89 年の歴史ある味噌蔵。日本では希少になった伝統的な木桶・天然醸造を守り、年間 2,000 トン以上の味噌を生産している。味噌の伝統文化の発信はもちろん、子どもや親に向けた食育活動にも長年取り組む。

開発担当 (右)

野田 好成

開発・マーケティング (左)

李 旬鎬 (リ スンホ)

現在の海外展開段階と支援内容 [輸出]



活用サービス

- 貿易投資相談、国内商社とのマッチング商談会
- 専門家派遣事業



ジェトロと岡崎信用金庫の
継続的な支援を受けて

ジェトロへの貿易投資相談をきっかけに、ジェトロの専門家への派遣事業を受けることになりました。専門家のアドバイスを受けながら国内での商談会に参加し、様々な角度から海外へ向けてのアプローチを行っています。ジェトロとの繋がりを持ってたことで、困った時にすぐに相談できるという安心感が生まれ、海外展開に積極的になれたと思います。私たちのような中小企業にとって、成功に至るまで取り組みを継続していくことは難しいのですが、ジェトロと岡崎信用金庫に寄り添うように支援してもらえることが非常に心強いです。

ジェトロ 新輸出大国エキスパート
(農林水産・食品分野)

志賀 敦

同社の味噌は、フランスやオーストラリアでは、日本食のみならず現地の料理にアレンジした調味料的な発想で売り込んだり、東南アジアでは、既存の味噌との違いを提案することでさらなる需要が見込めます。今後、海外バイヤー招聘や海外展示会などで売り込みをかけ、需要を掘り起こす支援を行っていきます。



岡崎信用金庫 橋目支店
係長

岩月 直哉

企業にとって役立つ支援を継続的に行っていきます。今回のように支店だけでは対応が難しい案件でも、当金庫の本部や、ジェトロへの橋渡しを円滑に行いながら、お力になれればと考えております。





クロダイトグループ 株式会社クロダイト

愛知県高浜市(営業本部) / 上下水道部品販売、管工事業、水道施設工事業

21世紀は水の世紀、 それを支えるクロダイト

当社は上下水道部品で国内シェアNo.1を誇ります。しかし、日本の水道普及率は既に97%を越え、新たな管路が作られなくなり、維持・管理の時代に入りました。国内市場の縮小は否めない状況の中、次の時代に向けたビジネスモデルとして、当社のABS工法に着目しました。ABS工法はシンプルな装置を使用し、短時間で管路を局部的に断水する工法です。当社の装置(ハード)と同工法(ソフト)をセットで売り込むべく、国内の水道展で海外企業へのプレゼンを行ったところ、フランスの企業などに非常に関心を持たれ、視野を世界に向けるきっかけとなりました。



代表取締役
黒田 勝基

企業プロフィール

クロダイトグループは1928年創業、従業員240名。上下水道部品、自動車部品の鋳物メーカーであり、上下水道部品では国内シェアNo.1。生命とシステムを結びつける企業、安心と文化をお届けする企業を目指している。

事業担当
社長室室長

黒田 晃正

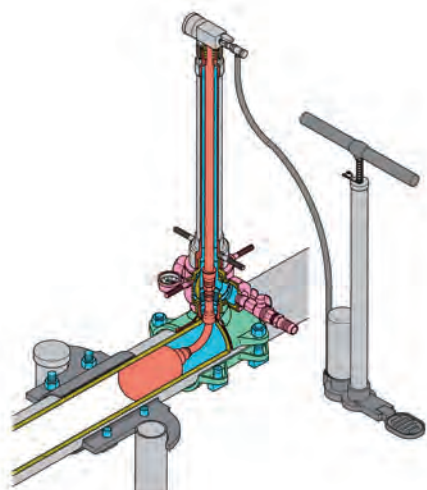


現在の海外展開段階と支援内容 [輸出]



活用サービス

- 海外事務所での情報提供
- 専門家派遣事業



おかしんへの相談を通じ、 ジェトロ個別支援を活用

フランスへの展開について、岡崎信用金庫の担当者へ相談したところ、ジェトロにつないでいただきました。現在は、フランス企業とのパートナー契約の締結に向けて、ジェトロ専門家による個別支援を受けており、また、現地視察時にはジェトロ・パリ事務所の協力も得ています。岡崎信用金庫が窓口となってくれているので、より気軽に相談することができ、ジェトロで対応できない相談にも他の機関を紹介してもらいました。トータルで支援を受けられたことでスピーディーに進められていると感じています。

ジェトロ 新輸出大国パートナー

高谷 克幸

いくつかある簡易止水工法の中でも、ABS工法はローコストで短時間での施工ができる技術であり、まさに中小企業の技術力を活かしたニッチな分野での海外進出を展開する良い事例だと思えます。仏国、米国といった先進国のほか、東南アジアでの需要も期待できます。



岡崎信用金庫 碧南中央支店
支店長

一柳 成

今まで以上に企業の目指す方向性を確認することができました。日々の訪問活動の中で、しっかり情報交換ができていた結果が“オール岡信”としての迅速な対応に繋がったのだと感じています。



事例紹介

Case study



株式会社浅野電業社

愛知県名古屋市 / 電気工事業

輸出、そして初の中国進出を経験

当社は、中国、東南アジア(インドネシア、マレーシア、タイ等)、メキシコへの輸出実績があり、また、2013年4月には中国(江蘇省常州市)への進出も果たしました。現地法人の設立にあたっては、約2年の調査期間を設け、岡崎信用金庫やジェトロへ相談しながら手続きを進めていきました。現地視察の際には、ジェトロの上海事務所からは、日本企業の進出リストを提供いただいたり、常州市の日本人会を紹介いただくなど、実際に現地でビジネスを始める上で、重要な情報も教えてもらったので助かりました。



企業プロフィール

1959年創業、従業員11名。電気設備の企画・設計・施工・メンテナンスまでをトータルに請負う。製品の輸出には30年以上の実績を有する。

代表取締役

浅野 泰弘

現在の海外展開段階と支援内容 [進出]



活用サービス

- 貿易投資相談、海外事務所での情報提供



海外進出の経験を、グローバル時代の糧に

残念ながら現在は中国から撤退し、国内から輸出業務のみを行っております。「撤退」と聞くと良い印象を持たれないこともありますが、当時の経験は他の企業にはない強みとも言えます。実際に目で見て、肌で感じたことで、取引先の要望に柔軟に対応することができるようになりました。今後日本では、国内での設備投資が頭打ちとなり、海外への投資案件がますます増えてくるのではないかと感じております。当社としては、過去の経験を活かしながら、新たな挑戦にも立ち向かいたいと考えています。

ジェトロ名古屋貿易情報センター
所員

中山 義隆

中国進出は0ベースでのスタートだったので税制面や送金について理解するのに非常に苦労されたそうです。現在も清算手続中ですが、今回の撤退を前向きに捉え、昨年には南米へも製品の輸出を行っています。



岡崎信用金庫 瑞穂支店

水田 貴文

商品を提供するだけでなく、「Face to Face」での活動を通じて地域の活性化を目指すという理念を持ち日々の業務に取り組んでいます。喜びも苦しみも分かち合えるようなパートナーになれるよう支援を続けていきます。

